

## 主な論点（案）

**1. 大規模災害等における消防団の役割の多様化への対応**

- ・ 消防団に求められる役割、特に大規模災害の際に求められる役割（活動の種類等）はどのようなものか。
- ・ 求められる役割を踏まえ、特に大規模災害時のマンパワー確保等のために、役割を限定・特化した消防団員のあり方をどのように考えるか。
- ・ 都市部と地方部における消防団に求められる役割はそれぞれどのようなものか。その役割に応じた消防団のあり方や消防団員の確保方策をどのように考えるか。

**2. 多様な人材の活用**

- ・ 今後活用すべき以下のような人材に、大規模災害等の際に消防団に求められる多様な役割をどのように担ってもらうか。
  - ① 女性、学生等の多様な地域住民
  - ② 自主防災組織、消防団OB組織、その他地域の防災関係組織の指導者、構成員
  - ③ 企業の従業員、企業の自衛消防組織の構成員
- ・ これらの多様な人材を対象に消防団への加入を促す方策はどのようなものか。  
例) 自主防災組織のリーダーが消防団員として活動する仕組み  
地域の防災組織や企業の自衛消防組織等から消防団へ加入する仕組み 等

**3. 団員の活動環境の整備**

多様な団員が消防団活動を継続しやすい環境を整備するために、何を行うべきか。

- ・ 転勤・就職等に伴う転居や、本業との両立困難等を理由とする退団への対応  
休団制度や活動を限定した機能別団員制度の更なる活用、転居する団員を団体間で引き継ぐための方策
- ・ 消防団の組織整理・統廃合等に係る課題への対応  
一定数の団員を確保する必要性等を踏まえた消防団の組織整理・統廃合等に係る課題とその解決方策
- ・ 団員の処遇に係る課題への対応  
消防団員の報酬、退職報償金、公務災害補償等の団員の処遇に係る課題とその解決方策 等